

「行為保証」によるプロセス管理で 品質損金を撲滅・儲かる工場になる手法 ～新しい品質管理手法で工程内不良を劇的に解消するアプローチ～

日 時 2025年8月22日(金)

10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会 場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム / オンライン(ZOOM)

講 師 遠藤 友貴哉 氏
(株) 遠藤メソッド 代表取締役 認定コンサルタント

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】品質不良と品質損金の関係性とメカニズムが、行為保証の視点で理解できます。
- 【2】行為保証の適用で品質損金地獄から脱出する手法が、撲滅例を通じて学べます。
- 【3】品質損金を防ぐ企業風土づくりと製造技術標準への落とし込みの仕方が学べます。
- 【4】行為保証（ちゃんと見る保証）のアプローチで儲かる工場になる実感が掴めます。

プログラム

1. 品質損金のとらえ方

- 1-1 生産現場の抱える問題
- 1-2 品質管理は、企業の価値改善活動
- 1-3 品質の重要性
- 1-4 3つの品質
- 1-5 生産性改善と品質改善
- 1-6 不良品発生と品質損金
- 1-7 悪魔のサイクルからの脱出

2. 「行為保証」と出来映え管理からプロセス管理への転換、品質損金撲滅につなげるには

- 2-1 行為保証(目的意識を保証する)とは?
- 2-2 出来映え管理からプロセス管理への転換
- 2-3 ハインリッヒの法則と不良発生メカニズム
- 2-4 行為保証における不具合の捉え方

3. 品質損金を防ぐ製造技術標準の作成法

- 3-1 暗黙知と形式知
- 3-2 技能と技術
- 3-3 作業者が捉えているノウハウとは?
- 3-4 手順とノウハウの違い
- 3-5 手順に落とし込んででも失敗はなくなる
- 3-6 製造技術標準の作り方
- 3-7 製造技術の再構築

4. 問題真因構造と真因究明ストーリー・7つの原則と問題真因構造の本質(再発のメカニズム)

- 4-1 再発メカニズムと問題真因構造
- 4-2 本当の真因とは(問題真因7つの原則)
- 4-3 真因究明の検証項目
- 4-4 5ゲン主義と真因究明ストーリー手法
- 4-5 行為保証による品質損金の捉え方

5. 承認要求行動と現場運用問題の本質・守る土壌づくり(遵守率と実施率向上)

- 5-1 正しい作業と正しくない作業
- 5-2 品質パトロールを行う8つの狙い
- 5-3 改善項目リストの真因特定と対策
- 5-4 実施パトロールコミットメント(管理者の育成とは)
- 5-5 守る土壌づくり(遵守率と実施率向上)、品質損金を撲滅する風土づくり

6. 「行為保証2.0」品質マトリックス表の運用・プロセス結果と出来映え結果連動性評価

- 6-1 品質マトリックス表とは?
- 6-2 ロバスト性の設計と考え方(ダブルチェック・トリプルチェックをなくす)
- 6-3 プロセス結果と出来映え結果連動性評価
- 6-4 スパイラルアップ(継続的改善・品質損金撲滅の継続)のしくみづくり

7. 行為保証による品質損金の撲滅例・まとめ

- 7-1 品質損金の撲滅事例
- 7-2 パラダイムトラップの障害と品質損金撲滅への道筋
- 7-3 行為保証への転換(パラダイムシフトの難しさ)
- 7-4 品質損金の撲滅で効果を発揮する行為保証

8. 質疑応答

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.257093

